

**自然科学研究機構国立天文台
年俸制職員(アルマプロジェクト 特任専門員) 公募**

【募集職種】 年俸制職員(特任専門員)2名

【所属】 アルマプロジェクト

【勤務地】 東京都三鷹市大沢2-21-1

【業務内容】

- 電波観測装置(相関器)制御ソフトウェアの開発・試験・保守
- 望遠鏡制御ソフトウェアの開発・試験・保守

【雇用期間】

2019年10月1日 ~ 2022年9月30日 ※1

試用期間:6か月

※1 博士の学位を持っている場合、雇用契約を開始日から5年間とすることがあります。また、契約期間満了年度に、契約期間満了時の業務量、従事している業務の進捗状況、職員の勤務能力・勤務成績・勤務態度、機構の財務状況を踏まえて、最長10年間まで契約を更新することがあります。

※2 但し、2013年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、2013年4月1日以降の通算雇用期間の上限が10年間までの契約となります。

【応募資格】

- 上記業務に必要な知識と経験を有し、以下の項目(1-4)を満たすこと。
 1. プログラミング言語C++,または、Javaに堪能なこと。
 2. ソフトウェア関連英文文書の読み書き、および、英会話が可能なこと(TOEIC700点以上が目安)。
 3. Linux上でのソフトウェア開発に習熟していること。
 4. 北米、或いは、チリへ出張可能なこと。
- 必須ではないがあれば優遇される知識・技能・経験は以下(A-D)の通りである。
 - A. 天文に限らず、各種装置の設計、開発、試験、運用の経験がある。
 - B. ネットワーク、分散計算機環境、UNIX系計算機の管理経験がある。
 - C. GPUやマルチコアを使った高速演算処理プログラムの開発経験がある。
 - D. チームでソフトウェア開発をおこなった経験がある。

【勤務形態】

週5日(月~金勤務。土・日・祝日、年末年始(12/29-翌年1/3)は休日)

始業時刻 8:30~終業時刻 17:15(休憩60分、週あたり38.75時間勤務)

【待遇】

給与は年俸制。概ね500万円~700万円

・職務内容、実績、経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給

・年度毎に業績評価を行い給与の見直しを行います。

通勤手当支給(上限55,000円/月)

文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

有給休暇(年次休暇、夏季休暇、忌引等)あり

託児施設あり(生後57日~) ※ただし、状況によっては利用できない場合もあります。

※手当は自然科学研究機構の規程による。

【選考方法】 書類選考及び面接による選考

【提出書類】

- (1) 履歴書(写真貼付)、職務経歴書
- (2) ソフトウェア開発や計算機に関するこれまでの経験・実績を含め、抱負をまとめた文章(A4で2頁程度)。また、【応募資格】の中で、どの項目にどの程度当てはまるか、英検、TOEIC等の英語力を評価する試験を受験していれば、その結果を明記してください。
- (3) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(Email アドレス、電話番号)

【応募締切】

2019年8月9日(金)日本時間17時まで随時応募を受付、都度選考を行い採用枠が埋まり次第終了。

【提出先】

(メール) E-mail : alma-yuki-application_AT_nao.ac.jp

上記提出書類をPDFに変換し、送付してください。

応募時の注意点：

- ・上記メールアドレスの“_AT_”を@に置き換えて送信してください。(以下、同様)
- ・メールタイトルに「特任専門員(アルマプロジェクト)制御ソフトウェア開発担当応募」と明記ください。
- ・一度に添付するファイルのサイズは10MB以内としてください。
- ・応募書類受理の後、祝休日を除き3日以内に受領確認のメールを送ります。メールが届かない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問合せ先】

(応募に関する内容)

国立天文台 事務部総務課人事係

TEL : 0422-34-4014

E-mail : apply-qa_AT_nao.ac.jp

(職務内容に関する内容)

国立天文台 アルマプロジェクト 小杉城治

E-mail : george.kosugi_AT_nao.ac.jp

【注意事項】

- ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用致しません。選考後、採用者以外の応募書類は責任を持って破棄します。
- ・面接に要する費用(交通費等)は応募者の自己負担となります。

【備考】

- ・本職は日本育英会奨学金返還免除職非該当です。
- ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは、<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。